



桃見台小学校 学校だより

# 桃風

令和2年度

No. 24

発行日 R3. 1. 22

発行責任者 校長 鈴木 哲明

## なわとびで体力作り

来月の校内なわとび記録会に向けて、練習が始まっています。なわとびは、季節に左右されず、屋内・屋外のいずれでも、狭い場所と最小の道具ですることができるため、冬季の運動として学校体育で伝統的に行われています。持久力や心肺機能の向上だけでなく、最近よく耳にする「体幹」を鍛えることができる有酸素運動として、子どもからお年寄りまで幅広く親しまれている国民の運動とも言えます。

子どもたちは、授業は勿論、休み時間にも自主的に練習をしています。校内なわとび記録会では、先日お知らせした通り、感染症対策のため、6年生以外の保護者の参観を控えてくださるようお願いしています。何卒ご理解をいただきまして、お子さんへの励ましを続けてくださいますようお願いいたします。



なわとびの練習

## 「こまったな」と思ったら“SOS”を出してみよう

児童の命を守る「SOSの出し方に関する教育」の推進が急務となり、文部科学省や県教育委員会では、方針を示し対策を講じています。不安なことやストレス状態が続くと、様々なサインが現れてくると言われています。そんな場合、「まずは、だれかに話してみる」ということが大切です。学校では、学級担任、養護教諭、スクールカウンセラー等が相談体制を整えています。また、「命の授業」として、ゲストティーチャーから、2年生以上が、学年の発達段階に応じた授業を通して、尊い生命を守る学習を継続しています。

なお、学校以外でも、福島県教育委員会、福島県中央児童相談所、福島県警察本部等で、電話相談を行っています。



命の授業（2年生）

## 戦争について聞こう

1月21日（木）に、地域の方をお招きし、6年生が第二次世界大戦での郡山空襲のお話を聞きました。現在では想像もできない辛い状況の中、戸惑いながらもたくましく生きてこられた体験を聞き、子どもたちは改めて平和の尊さを知ることができました。特に、桃見台地区にも空襲があったと聞き、とても驚いていました。

現在、コロナ禍にあって、乗り越えなければならない困難がありますが、先人が築いた絆や知恵をもって、負けずに進んでいこうと思いました。

